

◆ 四国防災八十八話 第八十八話より

『真鈴の水』

教訓…弘法大師が伝える互助の教えに学ぶこと

ある夏の日

ごめんください

どうも

あら、お坊さん!?

はい

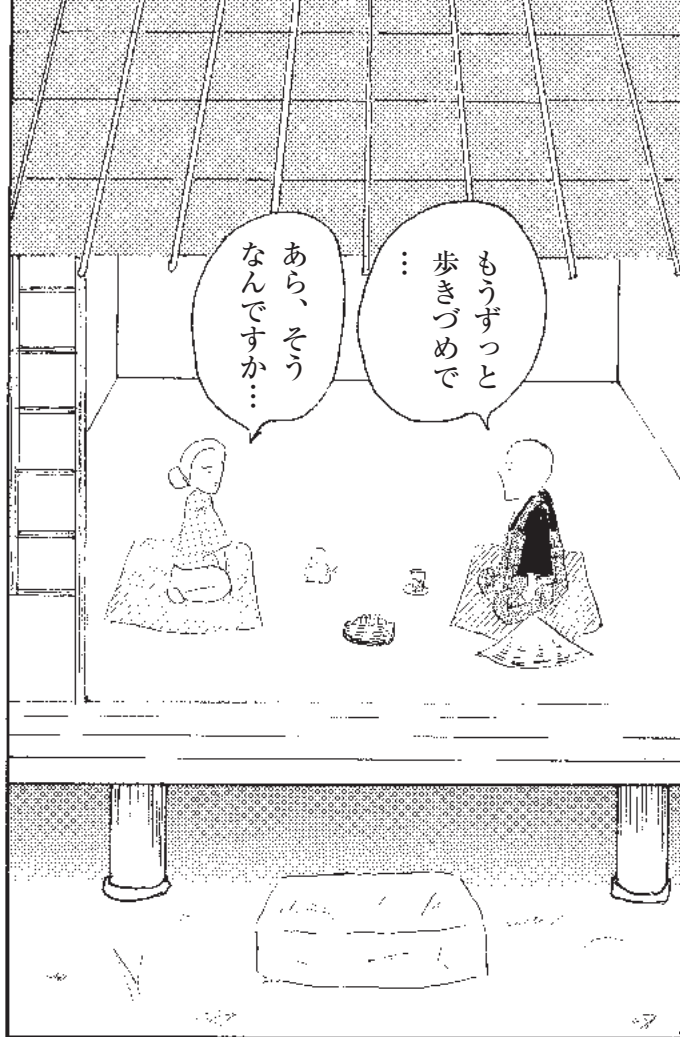
おお、  
ありがたい

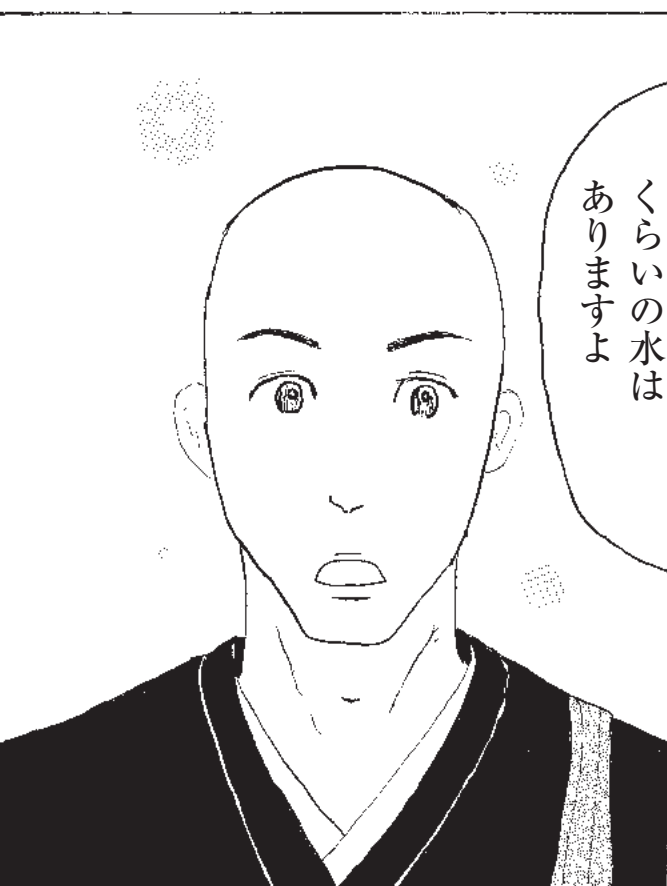
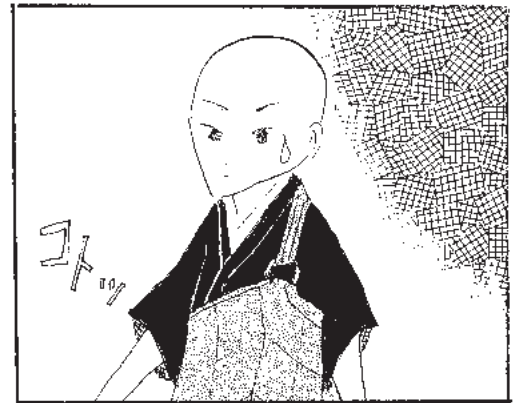
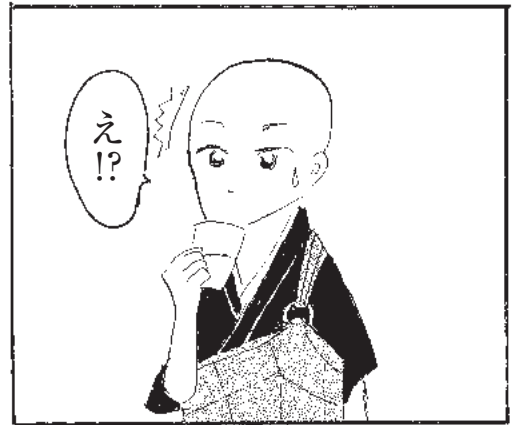
もちろん、  
どうぞ

申し訳ないのだが  
水を一杯  
いただけませんか？

あの、  
何か？

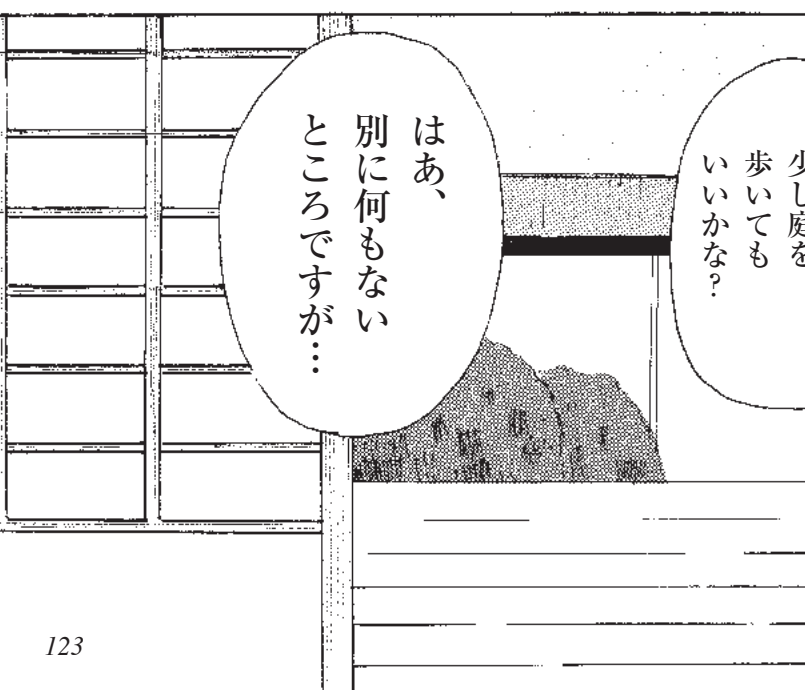
…暑くて

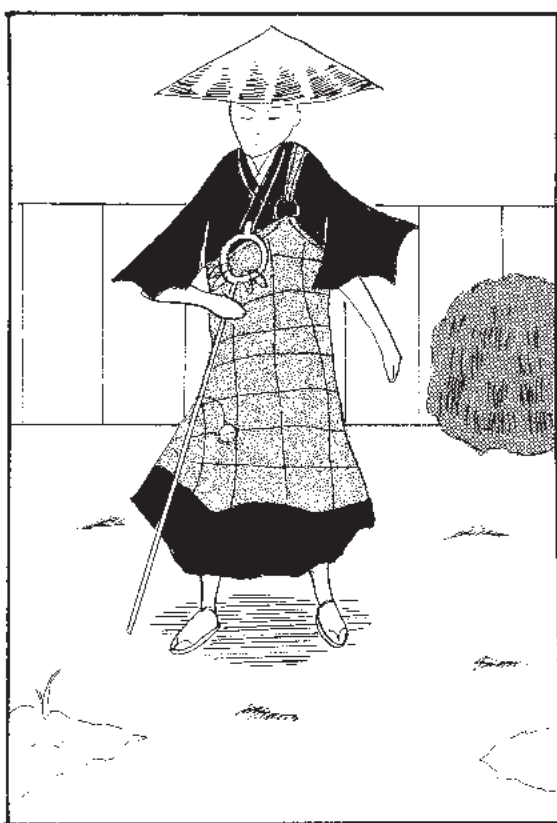
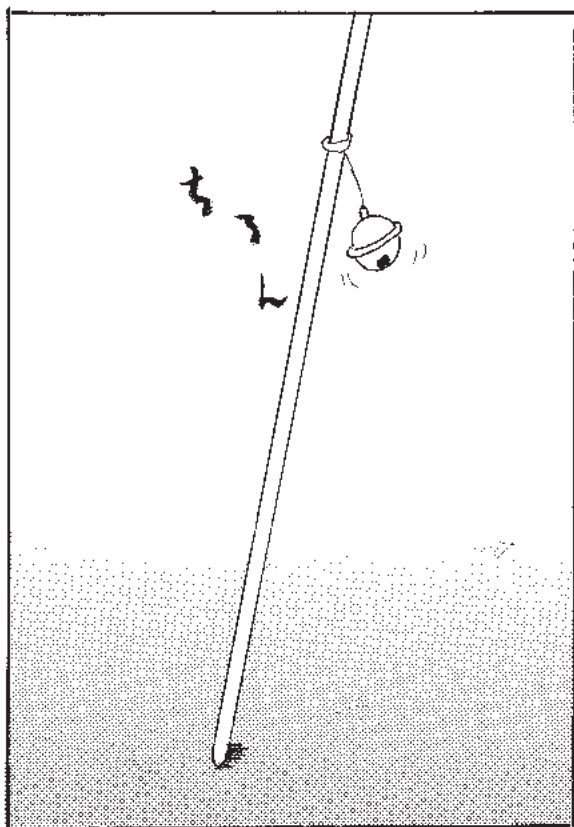




それに、いくら水がないと言っても、お坊さんがあがるくらいの水はありますよ







きれいな  
鈴の音

あーん

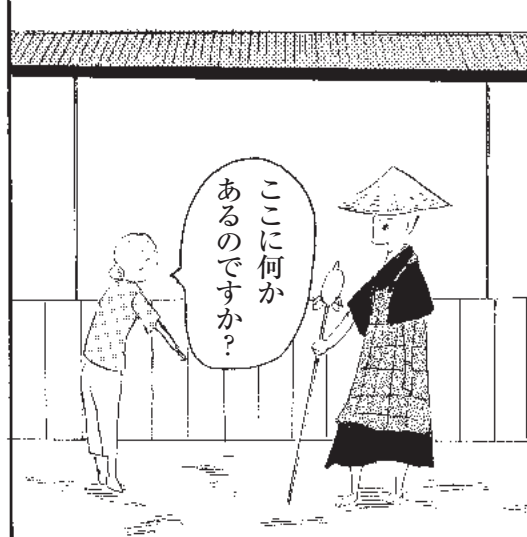
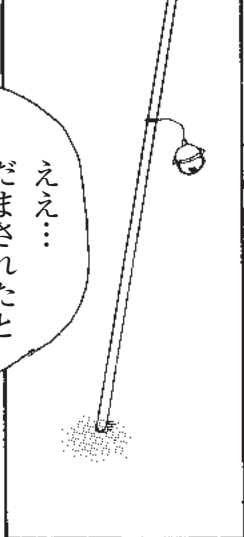
よし、ここだ!!



ああして杖で  
地面を突いて歩いて…  
何かの呪いだらうか?



ええ…  
だまされたと  
思っ掘って  
みなさい



ここに何か  
あるのですか？



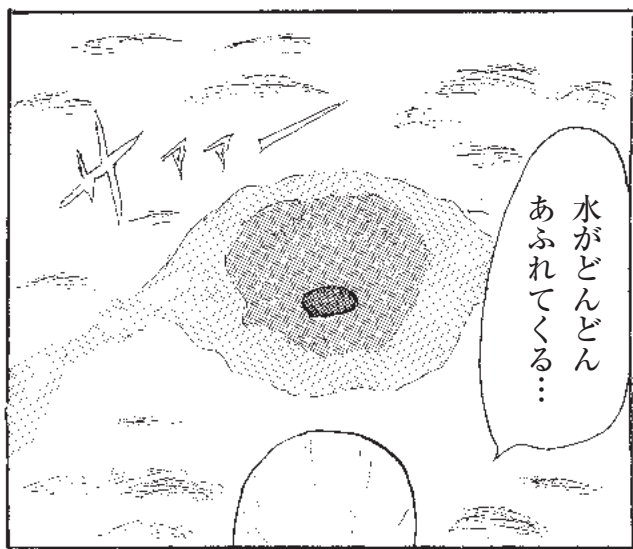
これは…!!



一体何かしら？  
でもお坊さんの  
言うことだから…



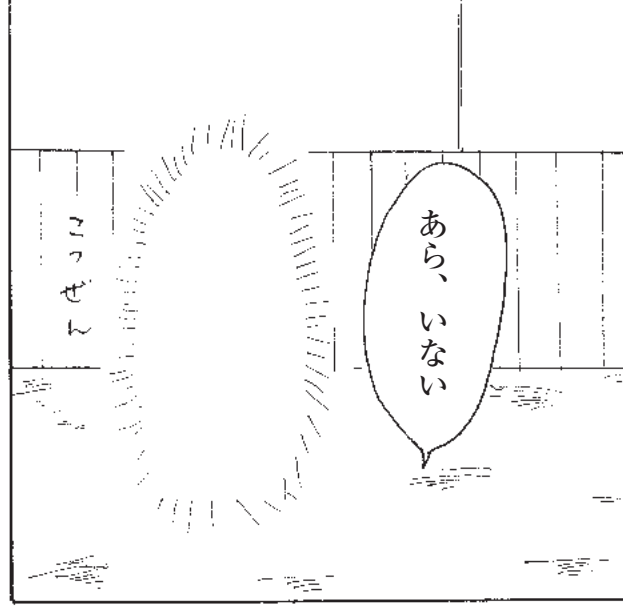
お坊さま!!



水がどンドン  
あふれてくる…

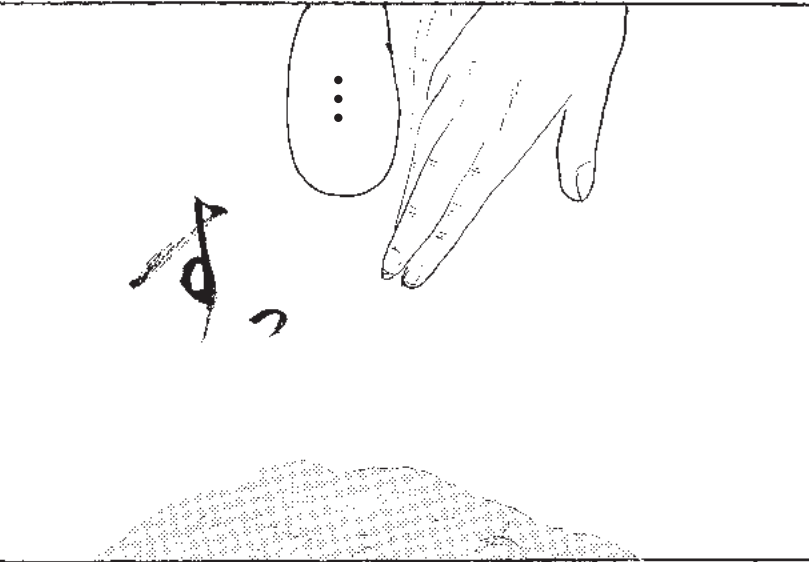


そんな、お礼も  
言っていないのに…



あら、いない

マッゼ



…

すっ



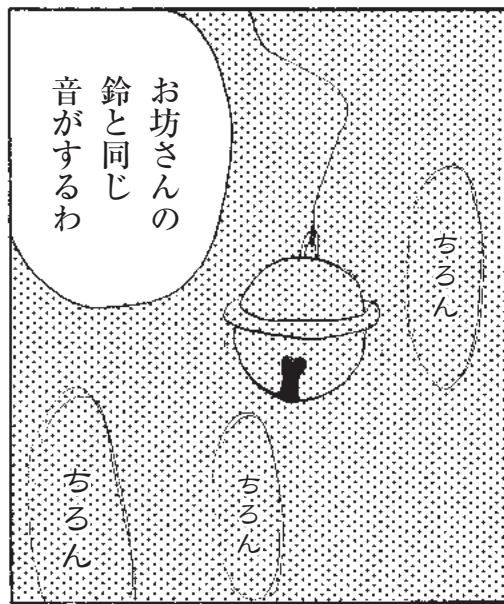
にしても

ありがたいことだわ



そうだわ、この水を  
日照りで困ってる  
人たちに…

ポン

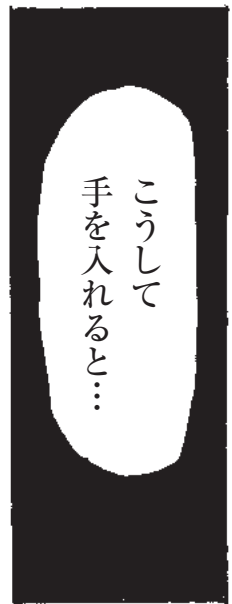


お坊さんの  
鈴と同じ  
音がするわ

ちるん

ちるん

ちるん



こうして  
手を入れると…



後日

ごめんください

はい

あら、となの隣村の

ひょい

度々すまないが  
また水をわけて  
くれないか？

水がないのは不自由でしょう  
いくらでもくんでお帰り

おお  
ありがたい！

では、礼と  
言っては何だが  
これを…

あら、  
何かしら？

でもいいの？  
まだ日照り続き  
なんでしょ？

いや、いつもここから  
水をもらってるから、  
水の心配はいらなくな  
ったし…

そばだ

まあ

